

ITIL入門

—運用管理のベストプラクティスを求めて—

研修の目的	ITIL の概要を理解し、ITサービスライフサイクルの改善などのために、適切に ITILベストプラクティスを活用できるようになること
研修の特徴	<p>事業活動のITへの依存度が高まるにつれ、その運用管理に求められるレベルが高まりました。このような状況に対応するべく出てきた考え方が「IT サービスマネジメント」です。この IT サービスマネジメントの実現に有効なベストプラクティスとして取りまとめられたものが ITIL (IT Infrastructure Library) です。</p> <p>ITサービスライフサイクル全体は25プロセスと4つの機能からなり、有効に活用するためには、これらの枠組みを理解しておくことが必須となります。</p> <p>本研修では ITILの概要をクイズ形式の演習を交えながら理解し、受講者が容易に ITIL を参照し、活用できるようになることを目指します。</p>
研修の期間	1日間(7時間)
研修カリキュラム	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム運用管理の課題 2. ITIL とは(バージョン2の概要とバージョン3の変更点含む) 3. ITIL の特徴 4. ITIL の IT サービスライフサイクル <ITIL の基本的事項に関するクイズ形式演習> 5. ITIL(バージョン3)の活用方法
研修の対象者	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ企業のシステム管理者 2. IT ベンダのシステムサービス提供者 3. IT コーディネータ
研修講師	<p>藤山 弘幸(ふじやま ひろゆき) IT マネジメント・サポート協同組合 組合員</p> <p>システム運用コンサルタント(冠夢堂システムズ取締役) 独立系の IT コーディネータ。IT コーディネーション業務の一環として、顧客企業の ITIL ベース システム運用アセスメントやシステム改善コンサルティング等に従事。近年では、企業の日本版 SOX 法対応支援の一環として、ITIL をベースとした IT 全般統制構築支援の実績も多い。</p>
受講者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に分かりやすかったです。有り難うございました。(運用サービス事業部門責任者) ・今日は大規模ユーザー中心だったが、中小企業向けに役立つ部分があれば使ってみたい。(ITIL ファウンデーション保有の IT コーディネータ) ・ITILV2からの頭の切り替えができた。(同上) ・とても充実している。(IT コーディネータ)